

|  |                                   |     |     |                |                   |     |          |
|--|-----------------------------------|-----|-----|----------------|-------------------|-----|----------|
| 授業科目名<br><英訳>  | 宗教人類学<br>Anthropology of Religion |     |     | 担当者氏名          | 人文科学研究所 准教授 石井 美保 |     |          |
| 群  | 人文・社会科学系科目群                       |     | 系列  | 地域・文化系（基礎論・人類） |                   |     |          |
| 旧群   | A群                                |     | 単位数 | 2単位            | 週コマ数              | 1コマ | 授業形態 講義  |
| 開講期  | 前期                                | 曜時限 | 火1  |                | 配当学年              | 全回生 | 対象学生 全学向 |
| <b>[授業の概要・目的]</b>  |                                   |     |     |                |                   |     |          |
| <p>この授業のタイトルは「宗教人類学」である。「宗教」と「人類学」の取り合わせは、一般に耳慣れないものであるかもしれない。だが、宗教は常に、人類学の重要な研究対象のひとつであった。人類学者が取り組んできた「宗教」とは、キリスト教やイスラームといったいわゆる「世界宗教」にとどまらない。人類学的考察の対象となる「宗教」とは、「世俗」から分離された特別な領域を意味するのではなく、政治や経済の動向、また人々の日常的な悩みや欲望と密接に結びついた、なまなましい現象や具体的な行為である。</p> <p>この授業では、主に次のような問いについて考えたい。私たちの日常的な実践／行為における「宗教性」をどのように考えるべきか。憑依や呪術といった一見「アルカイック」な宗教実践や、ファンダメンタリズムと呼ばれる一見「過激」な宗教実践と、私たちの日常的な営みとの共通性は何か。この授業を通して、宗教とは、特定の教義やそれへの信仰だけを意味するものではないこと、また、宗教をめぐる問題は、日常の生の偶有性、近代的主体像の限界、モノ／非人間のエイジェンシーといった広大な問題系とつながっていくことに気づいてほしい。</p> <p>この授業では、上記のテーマに関する講義に加えて、受講生がいくつかのグループに分かれ、自主的に設定した人類学的テーマについて調査（文献研究、フィールドワーク）を行い、授業中に発表する。独自のテーマを探求することを通して、机上の学問に収まりきれない人類学の面白さに触れることが、この授業の目的の一つである。</p> |                                   |     |     |                |                   |     |          |
| <b>[授業計画と内容]</b>   |                                   |     |     |                |                   |     |          |
| <p>授業では、以下のトピックについて、それぞれ1～2回の講義を行う。また、受講生はいくつかのグループに分かれて人類学的テーマについて調査し、発表を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 宗教人類学的フィールドワークへの誘い</li> <li>2 呪術・儀礼と行為遂行性</li> <li>3 西アフリカにおけるフェティッシュの流通</li> <li>4 呪物のエイジェンシー</li> <li>5 インドにおける環境運動と神霊祭祀</li> </ol>   |                                   |     |     |                |                   |     |          |
| <b>[履修要件]</b>  |                                   |     |     |                |                   |     |          |
| 特になし   |                                   |     |     |                |                   |     |          |
| <b>[成績評価の方法・基準]</b>  |                                   |     |     |                |                   |     |          |
| 授業での発表（40％）、平常点（30％）、最終試験（30％）を総合して評価する  |                                   |     |     |                |                   |     |          |
| <b>[教科書]</b>   |                                   |     |     |                |                   |     |          |
| 使用しない  |                                   |     |     |                |                   |     |          |
| <b>[参考書等]</b>  |                                   |     |     |                |                   |     |          |
| <p>（参考書）<br/>授業のなかで適宜紹介する。</p> <p>（関連URL）<br/><a href="http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/zinbun/members/ishii.htm">http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/zinbun/members/ishii.htm</a></p>  |                                   |     |     |                |                   |     |          |
| <b>[その他（授業外学習の指示等）]</b>  |                                   |     |     |                |                   |     |          |
|  |                                   |     |     |                |                   |     |          |